

製品名: PKM2 (1A7) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03663**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% アジ化ナトリウム (pH 7.4) を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 58 kDa

抗原情報

遺伝子名	PKM
別名	PKM; OIP3; PK2; PK3; PKM2; Pyruvate kinase isozymes M1/M2; Cytosolic thyroid hormone-binding protein; CTHBP; Opa-interacting protein 3; OIP-3; Pyruvate kinase 2/3; Pyruvate kinase muscle isozyme; Thyroid hormone-binding protein 1; THBP1; Tu
遺伝子 ID	5315
SwissProt ID	P14618
免疫原	ヒト PKM の合成ペプチド

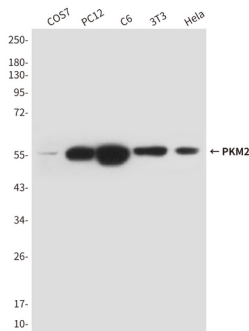
背景

ピルビン酸キナーゼは、ホスホエノールピルビン酸からピルビン酸への変換を触媒する解糖酵素です。PKM2は、腫瘍における好気性解糖に必須であることが示されており、これはワールブルグ効果として知られています。

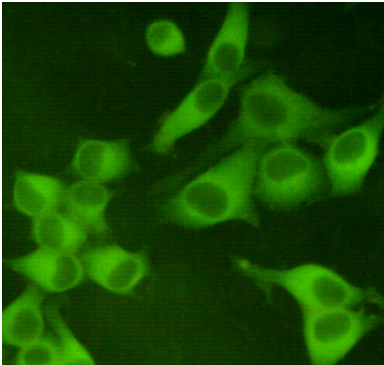
研究分野

シグナル伝達

画像データ



PKM2 抗体を使用した COS7、PC-12、C6、3T3、および HeLa 溶解物中の PKM2 のウェスタンブロット分析。



PKM2 抗体を用いた HeLa の PKM2 (1A7) の免疫細胞化学分析。